

第7回 観音寺市民会館開館準備実行委員会【要約】	日時 平成27年7月27日(月)19:00~21:00
	場所 観音寺市役所 2階 201会議室
出席者	委員14名(欠席3名)、事務局4名、事務局補2名
議題	(1)第6回議事録(要約)について (2)プレ事業・こけら落としについて (3)開館記念事業について (4)その他
<p>1. <u>開会</u> 開会のあいさつ。 委員交代に伴う委嘱状の交付</p> <p>2. <u>委員長あいさつ</u> 委員長のあいさつ。</p> <p>3. <u>議題</u> (1)<u>第6回議事録(要約)について</u> 資料を元に議事録(要約)について説明。確認の後、内容を承認。 承認された議事録を市のホームページで公開する。</p> <p>(2)<u>プレ事業・こけら落としについて</u> 資料を元にプレ事業及びこけら落としについて説明。</p> <p>(冠事業について)</p> <p>【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の人数に制限はないのか。 ・団体数の根拠はあるのか。 <p>【事務局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人は対象外だが、団体の人数に制限は設けない想定でいる。ただし、団体のイベントが小規模の場合、冠事業の対象とはならないケースも出てくる可能性がある。 ・出来るだけ多くの団体に補助できることを考えているが、団体数の根拠はない。団体数などにもご意見をいただきたい。また、補助の対象とならなくても、広報面のサポートは計画しており、それらの団体数は含まれていない。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いま活動している団体数などから、団体数、補助額が妥当かどうか、根拠を示す必要が有ると思う。 ・冠事業として宣伝効果が高い事業に対しては補助額を上げるという選択肢もあるだろう。最近では合併10周年の冠事業に対する補助金がでていた。 <p>【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助を行う団体は、審査にて決定するのか。 <p>【事務局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な審査方法などは決まっていない。選出方法にご意見等あればいただきたい。 ・合併10周年の冠事業募集では、応募団体が10分程度のプレゼンテーションを行い、審査を行った。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠名のみの事業と、補助対象事業の2通りに区別するのがよいと思う。冠名がつくだけでも、市民会館のプレ事業に参加を希望する団体もいるだろう。 <p>【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手法は検討するとして、審査は行うということによろしいか。 <p>【事務局補佐】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財源は税金から賄われるので、一定の事業に対して方向性や内容が適しているかどうかなど、 	

評価をすることは必要と考える。

- ・補助金額を一定とするのではなく、上限額を定めた上で各団体が希望補助金額を申請するという方式も考えられる。例えば、上限よりも低い額の補助を希望する団体が多かった場合は、予算内で多くの団体に補助をすることが可能となる。

【事務局回答】

- ・合併 10 周年の際は、補助額は一律ではなく、各団体の申請額と内容のみを判断した。今回も同様の補助という形も考えられる。

【委員質問】

- ・団体は舞台系の団体に限らないか。どの範囲までの団体が対象になるのか。雨乞い踊りなどの芸能なども入るのではないか。

【委員意見】

- ・冠だけの団体と補助金を出す団体を審査の上決定するのであれば、団体の活動ジャンルを制限せずに募集し、冠だけの団体が多くなっても良いかと思うがいかがか。

【事務局回答】

- ・制約しない予定でいる。団体の範囲は難しいが、市の文化協会に所属している分野、例えば絵画や写真も含まれると考えている。

【委員質問】

- ・冠事業を行うということを団体へ周知する方法は考えているか。合併 10 周年の際は、募集していることを知らない団体も多かった。

【事務局回答】

- ・市の広報等はもちろんのこと、文化協会宛に直接お知らせする等も考えている。市でも、合併 10 周年事業の周知がしきれなかった点は反省点として認識している。

【委員意見】

- ・以前、コンサートを上演する際に、地域広報誌に広告料の問い合わせをしたら、思いの外高額だった。
- ・ある都市では、ボランティアにより文化芸術を中心にした冊子を発刊している。運営経費は印刷代のみで、年に 2 回の発行とのことだった。文化団体だけではなく、広報活動を支援してくれるような団体にもプレ事業の予算から補助し、冊子等を作成するのもよいのではないか。
- ・市の HP に宣伝を載せるのもよいが、インターネットでは見ない人もいる。

【委員意見】

- ・これまでの検討の中で、市内の活動団体についてはある程度整理がついていると思う。参加可能な団体を絞る必要はあるとおもいますが、直接案内状を送れば、HP に掲載するよりは、団体に情報が届く。

【委員意見】

- ・組織に属している団体は、総会にて配布すれば確実に各団体に渡るだろう。単独で活動している団体をどうカバーするのは考えねばならない。

【委員質問】

- ・文化協会は約 85 団体、2,000 人が所属している。補助だけで事業にかかる全ての費用が賅えるわけでない。この補助金はどのような位置付けと理解すればよいのか。
- ・冠事業として宣伝のために行うのならば、広報や印刷物など、一定の制限が必要なのではないか。

【事務局回答】

- ・プレ事業のために特別に事業を実施するのではなく、毎年開催している団体の活動に対して「市民会館開館プレ事業」という冠をつけていただくことで、市民会館の開館を広く知っていただくことが目的である。
- ・実際に事業が決定すれば、応募要項のようなものを作成するので、そのような内容を盛り込

むことになる。

【委員質問】

- ・ プレ事業とわかるマーク等を作成することを考えているのか。

【事務局回答】

- ・ マーク等の作成はせず、印刷物等には文字で入れるイメージでした。

【委員意見】

- ・ 市のキャラクター等を活用することも検討できるのではないか。

【委員意見】

- ・ 範囲が「市内及び周辺地域」となっているがどうか。

【事務局回答】

- ・ 市外の施設で活動している文化団体もあるため、イベントを行う場所は市内に限らず、市外の近隣施設で事業を行う場合でも冠事業として補助をするという意図である。団体の代表は他市ではなく、観音寺市に限ると想定している。

(デザイン制作について)

【委員意見】

- ・ デザイン制作が H28 年 11 月～H29 年 3 月になっている。予算の関係がクリアできるのであれば、時期を早めたほうが活用できるのではないか。

【事務局回答】

- ・ 開館時期や事業対象となるのが子ども達なので、夏休み期間を考慮しこの時期に設定したが、予算の問題がクリアできれば繰り上げることも可能である。検討したい。

【委員意見】

- ・ T シャツは半袖か。時期や着る人の年齢を考えると、T シャツよりもウインドブレイカーやジャンパーの方が活用されるのではないか。

【委員質問】

- ・ デザイン制作に協力いただけるアーティストの候補はいるのか。

【事務局回答】

- ・ プロのイラストレーターを検討している。ただし子どもとのコラボレーション企画になるので、どのような作品になるのかは未知数である。

【委員質問】

- ・ T シャツは貸与か、配布するのか。貸与となると、クリーニング代だけで 1 枚 400 円程度かかることになるので、いっそ差し上げた方がよいかもれない。

【事務局回答】

- ・ 無料で配布し、例えば冠事業を行う団体など、色々なところで着て宣伝していただくことを考えていた。配布方法は考えねばならない。

【委員意見】

- ・ 可能であれば、関係者や市職員などが着用すると効果があるのではないか。

【事務局回答】

- ・ 過去にもイベントに合わせ、職員が T シャツ等を着用したことはある。おそらく今回もそうなるのではないか。

【委員意見】

- ・ ウインドブレイカーやジャンパーという案もだが、何かを作り身につけていただくという方向性に関してはよいか。

【委員意見】

- ・ よい。

【委員質問】

- ・ デザイン制作事業の予算には、何が含まれているのか。

【事務局回答】

- ・アーティストへの報酬とTシャツ作成代金である。

【委員意見】

- ・来年は瀬戸内国際芸術祭の年でもあるので、早めに作成したほうがよいのではないかと。瀬戸内国際芸術祭を活用するならば、小学生にこだわらず一般公募し、港にフラッグに見立てて展示するなど考えられる。

【委員意見】

- ・デザイン制作は市内の小学生が対象と言っているが、アーティストの作風と小学生ではイメージがあわないのではないかと。対象は中学生にした方がいいのではないかと。

【事務局回答】

- ・ご指摘のように、アーティストの作風から見れば中学生向きかとも思うが、小学生だからこそ面白い作品になるのではないかと期待している。ただし必ず小学生が対象でないとならないというわけではない。

【委員質問】

- ・Tシャツのデザインは1種類のみか、複数デザインのTシャツを作成するのか。

【事務局回答】

- ・詳細は企画が決まってからになるが、ある程度絞るつもりではいる。参加する人数によっては複数採用することもあるだろう。そのあたりの判断も基本的にはアーティストに任せたいと考えている。

【委員意見】

- ・Tシャツとともに、市民会館のエンブレムとなるようなマークを作成していただくというのも考えられる。

(舞台体験について)

【委員意見】

- ・舞台体験にて、「観客を入れての使用は不可とする」とあるが、それだと観客が入った場合の習熟訓練ができないのではないかと。

【事務局回答】

- ・前回の委員会でも観客を入れるかどうかは議論になった。現時点で結論がでていない。

【委員意見】

- ・観客を入れられないならば団体は何をすればよいのか。利用用途が非常に制限され、内覧会と変わらぬ感じになるのではないかと。

【委員意見】

- ・こけら落としの前に観客を入れるのでは、こけら落としの意味が無くなる。
- ・団体の関係者が客席に入る程度は大丈夫と想定している。

(愛称募集について)

【委員意見】

- ・ネーミングライツは、成功する感触があるのか。

【事務局回答】

- ・未知数というのが正直なところだが、先に愛称を決めるとネーミングライツができなくなる。先にネーミングライツの募集をし、応募がなければ愛称募集に切り替えるという想定でいる。

【委員意見】

- ・市民会館の広報についてだが、アドバルーンはどうか。高い建物が周りにないので目立つ。一式10~15万円程度で可能なようだ。

【委員意見】

- ・風や地理的なものを考慮すると難しいのではないかと。

(こけら落とし公演について)

【委員意見】

- ・こけら落としの公演内容については、概ね指導者の方にお任せするという形でよろしいか。

【委員意見】

- ・私も指導者として参加する予定だが、まだ内容については決まってない。個人的な構想ではあるが、吹奏楽と合唱があり、関係している子どもたちが全員出られる舞台が作れるといい。公演時間は1時間から1時間20分程度を想定している。

【委員意見】

- ・演奏だけでなく進行役も必要となる。

【委員質問】

- ・前回も議題に上がっていた、プロの指導者の招聘はどうなったか。

【委員意見】

- ・予算額が定まってからの検討になる。指導者といっても、パート練習の指導と、全体の指揮では金額も違う。
- ・予算があるのであれば、作曲していただければ嬉しい。予算があれば作曲していただけるだろう。

【委員意見】

- ・合唱と吹奏楽のコラボレーションであれば、編曲は必ず必要となる。編曲は専門の方に頼むのがよい。
- ・子どもが入るならば、きちんと編曲しないと声を通らなくなる。

【事務局回答】

- ・今の予定では代表者を秋口までに決め、事務局と代表者で28年度4月から1年間の練習スケジュールを決める予定でいる。
- ・併せて演奏曲などの大枠を決め、編曲等を含めた費用を算出する想定である。

【委員意見】

- ・内容については、委員会ではなく実際に事業を行われる方と話した方がよいだろう。

【事務局回答】

- ・今後は、内容については代表の方におまかせし、委員会では報告という形をとらせていただくことになるだろう。

【委員意見】

- ・編曲費用は曲の長さや、お願いする方によってまったく額が違ってくる。個人的には地元でゆかりのある方がよいのではないかと考えている。

【事務局回答】

- ・編曲や指導者への謝金などの他に見込まれる費用はあるのか。

【委員意見】

- ・色々と細かな経費がある。例えば、楽器運搬費なども計上しなければならない。

【委員意見】

- ・事業のスケジュールは早く作成したほうがよい。
- ・合唱は大人と子どもが混同ということでもよろしいか。

【事務局回答】

- ・どちらになったかという結論は出ていない。基本的には大人と子どもが一緒に行くことを考えているが、子どもだけの参加となることもあるかもしれない。

【委員意見】

- ・大人がいるかないかで、演奏曲も変わってくるだろう。また、中学生では難度の高い曲を演奏するのは難しいか。
- ・参加者数によっても変わってくる。

【委員意見】

- ・現在、高校1年生は30名程度である。

【委員意見】

- ・子どもたちだけでは人数が足りないのではないか。

・市民でも、合唱をしている方々がいる。

【委員意見】

・個人的な構想だが、演奏会の最後には客席も含めて皆で大合唱できる曲目を演奏することが理想だと思っている。

【委員質問】

・大人が入ったほうが演奏曲が広がるのは確かだろう。吹奏楽は中学生と高校生の想定か。

【委員意見】

・それも今後の検討になる。中学生も個人によりレベルに差があるので難しい。出来るならば、希望者全員が舞台に立てるとよい。

【委員意見】

・大人の場合、人数が多くなると時間をあわせて練習するのが難しいという課題がある

【委員質問】

・無料コンサートとのことだが、チケットの配布方法などについてご意見はあるか。

【委員意見】

・整理券を発行する、抽選するなどが一般的な方法ではないか。

【委員意見】

・出演者のご家族などは鑑賞されたいだろう。ただしホールの座席数には限りがあるので、関係者ばかりにならないよう配慮する必要がある。

・関係者枠は必要になるだろう。

・市民会館のオープニングで、関係者ばかりになってしまうと開かれたコンサートにならないのではないか。

【事務局回答】

・チケットは、抽選がわかりやすいのではないか。

・場合によっては、ホール内に入りきれない方々のために、ロビーや多目的ホールに映像を映すことは可能だと思う。ただし、出演者の人数が多かった場合、多目的ホールは控室として使用される可能性が高い。

(3)開館記念事業について

・開館記念事業について説明

【委員意見】

・それぞれ、何公演程度を想定しているのか。

【事務局回答】

・1回公演を予定している。金額的にも大きいので、複数回行うのは現状難しいかと考えている。

・事業は有料公演とすることを考えている。現在想定額を示しているが、かなり踏み込んだ額になっている。例えば、予算がないならばこのような事業がいい、予算内で振り分け事業構成を変えたほうが良いなどご議論いただきたい。

【委員意見】

・稼働率を上げるためには、初年度はなるべく頑張って事業を行わねばならない。

【委員意見】

・集客力があり採算が取れる事業であれば、記念事業ではなく指定管理者の事業（自主事業）として実施することも可能だろう。詳細については次回の議題としたい。

(4)その他について

- ・次回は、8月24日(月)19時から観音寺市役所2階会議室にて開催を予定している。

4. 閉会

閉会のあいさつ。

以上